

令和4年度第1回原村特別職報酬等審議会 会議録（要旨）

1 日 時 令和4年10月13日（木）午後6時56分から午後8時56分

2 場 所 原村役場 3階講堂

3 審議会の任務について

総務課長より条例（資料 No.2）を説明

4 協議結果 特別職の報酬額の改定について（諮問）

【篠原会長】本日1日で決めるか、本日の説明をもとに後日決定するかをお諮りしたい。

まずは、事務局の説明を聞きたい。

【総務課長】（資料に基づき審議内容について説明）

【篠原会長】資料 No.4-14 について、資料 No.4-3 等を参考にしながら諮問意見をとりまとめたい。まず、議員報酬について意見はあるか。

【総務課長】意見収集では5人からは据え置きとの意見を得ている。

【牛山委員】原村は少し安いと思うが、現状維持でよいかと考える。

【小平委員】コロナウイルス拡大により事業主の負担は増加していることから、報酬を上げる事例はあまり聞かないが、物価の関係等を考慮すると現状維持に若干上乘せがよいと考える。

【万郎委員】生活をしながら働くのであれば厳しいかと思い、もう少し金額がほしいのでは。増額がよいと考える。

【田中委員】参考に伺いたい。50代前の議員で兼業していない人はいるか。

【秋山局長】該当の議員はいないか。

【田中委員】この報酬額でもやっていけそうな人が立候補していると考えている。村としての収入が減っているのであれば、現状維持でよいのではないかと考えるが、数パーセント程度であれば増額も良いのではと考える。

【田口委員】この金額では生活できないと感じたが、主たる職業があつての兼業であることを知った。議員業のみに全力を注げるものでないと考えつつ、財政も考えると若干の増額とするのはどうか。

【矢崎委員】コロナウイルスの状況を考えると上げにくい状況ではあるが、労働者給与で考えれば世の中の流れからみて、これに沿って増額を考えてもよいかと考える。

【ゆかり委員】地域差もあまりないという点、村財政の状況、議員意見でも5名が現状維持でよいと考えている点を考慮し、増額はまだ先でよく、現状維持で良いかと考える。

【長田委員】議員5人の意見で現状維持となっているところから、あまり切迫している状況ではなく、基本的には据え置きでよいのではないかと考える。増額には反対ないが、生活に苦慮のない水準までは上げられないとも考える。

【篠原会長】議員報酬については、生活保障のものではないため、現状維持でも良いかと思うが、物価を考慮すると増額しても良いかと考える。今回は増額を見送って次の機会に検討していくのでも良いかと思う。

- 【森委員】 全国の議員のなり手が少ないという情報を見るに、財政状況を考慮しつつも、少しでも増額する方向がよいかと思う。
- 【田中委員】 消防団員の関係はどのように考えればよいか。
- 【総務課長】 消防団員については国で示された標準報酬額があるためこの額とするか、増額ならばこれを基準として増額するようになると考えられる。
- 【篠原会長】 議員報酬について、現状維持か増額かをお諮りしたい。挙手をお願いする。
採決（現状維持5名）により、現状維持とする。
次に村長、副村長、教育長の給料についてお諮りする。
- 【ゆかり委員】 財政を考慮して据え置きでよいと考える。
- 【田口委員】 上げる理由も下げる理由もないため据え置きでよい。
- 【田中委員】 据え置きでよい。
- 【篠原会長】 採決（据え置き9名）により、据え置きとする。
次に非常勤特別職の報酬についてお諮りする。
- 【森委員】 消防団員は増額が良いと考える。
- 【矢崎委員】 諮問された資料通りでよいと考える。
- 【篠原会長】 これまでは、災害時の出動報酬はなかったか。
- 【消防署長】 これまでは、報酬としてはなかった。
- 【総務課長】 これまでは、補助金として団に支出していた。
- 【森委員】 出動の際の報酬は。
- 【牛山委員】 団長経験から、当時より報酬は非常に安く、収入額より使う金額の方が大きく苦しかった。増額することで若い団員にも良い環境を作る。
- 【総務課長】 機関での手入れに関して支払いはあるか。
- 【消防署長】 現在は機関での手入れについて報酬はない。
- 【篠原会長】 非常勤特別職について、採決を行う。
採決（全員賛成）により、諮問されている内容のとおりとする。
改正期日は意見等ないため、令和5年4月1日とする。
- 【総務課長】 議員報酬については、お諮りいただいた通り、令和9年の統一地方選挙に向けて審議会を開催して検討していくこととなる。
- 【篠原会長】 付帯意見について意見をお願いする。
- 【長田委員】 出動手当8,000円は、今後の状況に応じて増額を検討していただきたい。
- 【矢崎委員】 非常勤特別職について、増額の場合、一律に増額する等方法はどのようになるか。
- 【総務課長】 前回の増額の例では、増額の率を決めて一律に乗じて増額した例がある。
- 【田中委員】 議員の常任委員長等の役職とは。
- 【秋山局長】 選挙で議員が選出された後に、その議員の中から2つある常任委員会をそれぞれ選任していく流れとなる。任期中に役職が変わりこれに応じて報酬額が変わることもある。
- 【田口委員】 議員活動における活動費は報酬に含まれるか。
- 【秋山局長】 出張等は別個に村から支出するが、個人で活動したものについては議員個人の負担となる。
- 【田口委員】 活動費についても、検討する話し合いをしていきたい。
- 【秋山局長】 現状では、政務活動費はないが、今後設けていく議論はされている。

【ゆかり委員】教育委員について、下諏訪町は委員長がいるが、原村にはいるか。

【総務課長】村では職務代理となる。資料 No.4-8 について訂正をお願いする。

【篠原会長】再度参集して答申書を諮るか、または会長、副会長に信任するかお諮りする。

(信任の意見あり)

会長、副会長で答申内容を諮ることとする。